

バラの育て方
一口知識

これから育てたい方は、11月頃から苗が売り出されます。(植え付けは休眠期の12月～3月が最適) ●プランターならバラの土か赤玉土6:腐葉土3:牛糞1の割合で作った培養土で。●地植えは深さも直径も50cmほどの穴を掘り有機質(腐葉土や牛糞など)をよく混ぜ込んで植えつけます。



剪定

- ①枯れた枝、病気の枝、弱く細い枝を切る。
- ②株の中心に混みあっている枝を切る。
- ③高さをおさえる。(元の背丈の三分の一にする)
- ④外に向いている芽のすぐ上5ミリのところを芽と平行に切る。

肥料

- 剪定後には必ず寒肥を忘れずに!
化成肥料ではなく有機質のものを与えましょう。
- ①堆肥(牛糞・バークたい肥など)バケツ一杯に油粕や骨粉などの有機質肥料をコップ1～2杯を混ぜて(混ぜたものの計約600gほど)
 - ②株の回りの土を掘り、肥料を埋める。

今から始める、バラ色の暮らし。

バラは春、と思い込んでいませんか。色鮮やかで、長く楽しめる、香りも豊か…
これからはバラの季節です。あなたのお庭にも、素敵なバラを咲かせてみませんか?
●今号では、美しいバラの種類と、花のあとのバラの楽しみを合わせてご紹介します。



ポレロ

白いやわらかな花びらを幾枚も重ねてふっくらと咲くのが「ポレロ」。葉の緑も美しく、樹形も小さく育てやすいので、人気上昇中の品種です。これもフランス生まれです。

★ローズのバスボール



重曹3・クエン酸2・粗塩1の割合でまぜ、サシェ用に作った花びらを加え、ポリ袋の中でボール状に固めておきます。お風呂の浴槽に入ると、それぞれの効能が溶け出して、素敵なバスタイムを楽しめます。

紫色のバラは、美しく高貴なイメージ。難しい青色系のバラの中でも比較的育てやすいのが、このドイツで生まれたブルームーンです。柑橘系のいい香り。ゆったりとしたカップ型の花が楽しめます。

ブルームーン



★ローズサシェ

花を楽しんだあと、香りのいいブルームーンで、サシェをつくりましょう。花びらをていねいに外して新聞紙の上などで2週間程度、乾燥。乾いたらポリ袋に入れ、アロマオイルを2、3滴、花びらを壊さないようからめて完成。不織布の小袋に入れて使います。



「ブラックティー」は、その名の通り、深いティーレッドの花色をしたバラ。これからのお庭に、ホントにふさわしい、日本で生まれたシックなバラです。春に種を蒔いて秋に咲いて冬には枯れるはかなさもいいですね。

ブラックティー



マチルダ

フランス生まれの四季咲きのバラ「マチルダ」。白に淡いピンクの覆輪が優雅な大輪の花ですが、9月～11月には深い色に変わり、いっそう綺麗。木はやや低めで横に広がるイメージです。

★ローズヒップティー

ローズヒップとはバラの実のことです。バラは、秋から冬にかけて赤い実をつける品種があります。実の中のタネとワタを取り除いて1か月ほど乾燥。煮出してハーブティーにしていただきます。ビタミンなど嬉しい成分が満載です。



★ローズジャム

庭で育てた、農薬の無いバラでジャムを作るのも面白いですね。意外に簡単に作れます。洗ったバラの花びら(やわらかいところ約20g)/グラニュー糖(約50g)/水(100ml)/レモン汁(少々)⇒花びらを、水と半分のグラニュー糖で煮ます。柔らかくなったら、残りのグラニュー糖を入れ、煮詰めます。トロットしたらレモン汁を加え、ひと煮立ちさせて出来上がり。



おかやま

花

アーバンホール
花紀行

vol.24

シリーズ特別企画
ガーデンカレッジ

保存版

紀

出かけて見る花もいけれど、自分の手で育てて、家族で楽しむ花もまた楽しい。アーバンプレス・おかやま花紀行は、ステイホームを豊かに過ごす情報ペーパーです。

行

倉敷、岡山、玉野に16ホール、裏面もご覧ください。

アーバンホール

葬儀・法要・ギフト